

町内会活動に積極的に取り組む

—第一回「CLインストラクターの会」での発表から抜粋—

スリーウイングス(株) 芹澤幸彦 <http://www.3ws3.com/> srzw3ws@kamakuranet.ne.jp

ほとんどの市民が嫌がる町内会の理事依頼を受け、初めて町内会活動に取り組み、一年間経験して学んだことをまとめてみた。町内会の活動はボランティアそのもので、個別訪問し、話を聞くのが主な仕事。

1. 町内会活動が嫌がられるのは

- ・現実的には嫌がられており、暇な方々のお遊びと理解されている。
- ・町内会で嫌われる人⇒一流企業出身の老人が嫌われている。嫌われる理由は、町内会での集まりの時、正論（批判）を説くのはよいが活動をしようとしなない。言っていることは正しいが、批判のみで終わっている。
- ・運動会のテント張り、掃除、椅子運びや片づけ、回覧板の配布等地味な作業が多いことにもよる。
- ・近所づき合いは、感情（好き嫌い）が中心になっている。
- ・あの人は気難しいに違いない、こんなことを頼みに行くのは億劫、嫌がられるに決まっているなどと決めつけ活動を避ける。

2. これからの町内会活動につながる活動

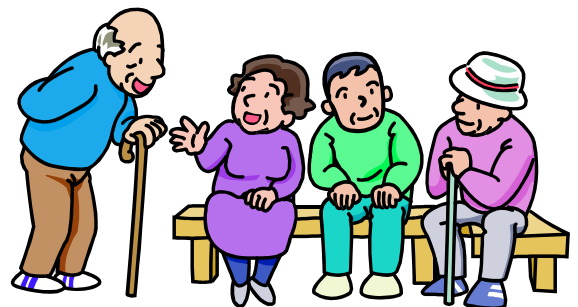
町内会活動を感情でとらえらうとうっとうしいものになるが、人との出会い、人を理解する楽しさに気づくと新しい発見の連続でもある。

- ・もっと、近所づきあいを良い意味で密接にするには。
- ・子供たちが活発に遊べる環境づくり—公会堂建設の寄付をお願いしに町内会を回る中で、今の子供たちはそんなところで遊ばないから無駄と反論する人に、子供の教育のたいせつさを話すと、聞いて頷いてくれる。
- ・テスト勉強だけでなく運動や、研究するワクワク感を伝える場にする（近所には学者やもと大学野球や往年のラグビーのスターもいた）。
- ・老人等孤独な状況にある方々を救う手立て—個別訪問で独居老人が嬉しそうに会話する。
- ・町内会活動を通じて地域のコミュニケーションを円滑にする。
- ・子供との交流を考える。
- ・個別訪問し、会話することで回覧板の滞り問題の原因を知る（回覧板が滞る過程は、問題を抱えた家庭が多い）。

3. 町内会問題解決手段の広がり

町内会活動をポジティブにとらえていくと多くの問題解決につながるのではないかな。

- ・政治への参加（町内会のお祭り、行事には政治家が来る：衆議院議員や市長、県議員、市議員と政治の話が直接できる）接待係を担当して、飲み物サービスの際に話に分け入って議論。
- ・町内会の理事会には地域の高校の校長、中学、小学校の校長等も来られ、子供たちの何が問題かを解説してくれる。
- ・市役所の職員もゴミ問題等で説明に来た際、質問を求められるが、質問する人はなく、いろいろ質問してみる。質問をするときちんと何でも答えてくれる（本当によく勉強している）。しかし、質問がないと何も説明がない。
- ・他の町内会との交流（他地区の防災マニュアルの紹介）。
- ・町内会加入促進のために町内会の情報、加入メリット、効果などの内容を含んだ「加入のしおり」を作成、配布する必要性。



- ・著作物（アマゾンで購入できる）にもユニークな活動例が紹介されている。

4. CL活用の具体例と気づいたこと

ーラベルを貼られたままの人を実際に会って確かめる

- ・あの家は気難しいから理事が町内会費を直接集金となっている家がある？
Aさん…行ってみると明るい声で応対し、払ってくれた（何故だかわからない。慣例？）。
Bさん…電話の話し方がぶっきらぼうな人に 直接会うとシャイで人と話すのが苦手だけれど善いと発見。
- ・〇〇さんは非協力的な人としている寄り合いでの批判には…「でもこんな発言も（直接お会いして聞いたら）していましたよ」と伝えると「そうなんですか」と反応（会って事実を確かめずに噂だけだった）。
変わり者、とかのラベルを貼ってその噂をするだけ。実際にあって確かめて、新しい事実を皆に伝えると人にたいする評価を見直すことになる。

ースケジュールを立てる

- 「みんな寄付金集めなんて嫌がるに決まっている」と決め付け、活動をしぶる。
- ・理事や建設委員との同行スケジュール表と組長さんの同行希望日の記入シートの提出依頼をしたら2日で半数の人が出してくれた。

ー目的を具体的に伝える。具体的な行動を明確にする

- ・「私（主婦）、寄付金のお願い、どう話してよいかわからない」という建設委員に…寄付金依頼手順書を作成⇒それをもとに怖いけれど行くしかないと同行に同意。
- ・公会堂の建設資金の寄付金集めに非協力的な人や消極的な人に…何万円集めるのが目的ではなく、お願いに回ること。資金集めは玄関先までの案内までの協力を要請。

ーコントロールできる目的を示す

前向きに寄付金を払ってくれる人はいなそう、行くのが嫌だという人に、

- ・払うか払わないかは、相手次第、心配するよりもとにかく声掛けをしてみましょう。
- ・誰だって、好きで組長をやる人はいない（順番）から、組長として声掛けしても、文句を言う人はいません。
- ・今やれることをしましょう。
- ・建設委員と組長の同行ペア一覧表の作成
- ・スケジュール表の作成
- ・趣意書のできる日程を町内会長に電話で確認する。それを皆さんに電話する。
- ・電話網を作成


ー気づいたこと

- ・次の組長の名前も電話番号も知らないことに疑問をもったが、日頃挨拶だけで暮らしているのが普通、電話もかけることは普通はないと自分の思い込みと気づく（一般的に知らないのが普通）。
- ・想像で頭だけでいろいろ考えるのではなく、動いて確かな実際の事実からの情報を得ることが大事と再確認。

5. 町内会活動をやった良かったこと

- ・いろいろな人と出会え、ビジネスでは出会えないような人と出会えた（本当に変わった人も含めて）。
- ・政治家と議論する機会に臨めた。
- ・大先輩（70代）の他地区の町内会長と町内会の悩みを共有した。
- ・県会議員や市長と友達になった。
- ・近所に引っ越してきたジョギングママと友達になった。
- ・毎日出会う小学生に「おはよう」と挨拶するようになった。
- ・市役所職員と議論し、それが公務員研修に役に立った。
- ・大勢のお年寄りとお友達になる一口うるさい高齢者と話してみると市役所の元助役であったことが分かる。私たち理事の仕事を認めサポートを申し出、協力してくれた。

- 回りの人がこちらのやり方を理解し、手伝ってくれた。（神奈川県鎌倉市CLインストラクター）

 [目次へ戻る](#)